

(取り付ける前に必ずお読み下さい)

《仕様》

- ・ポジションプレート、ブレーキカム、etc アルミ (A2017) ピレット削り出し
- ・ペダル、ステップパーペダルピン、etc アルミ (7075) 鍛造
- ・ペダル先端可倒システム採用
- ・厳選されたポジション設定 (BEET X-Formura参戦の9Rと同ポジション)
- ・MFJレースレギュレーション対応ステップパー
- ・逆チェンジに変更可能 (6Rはレース使用時のみ可能)

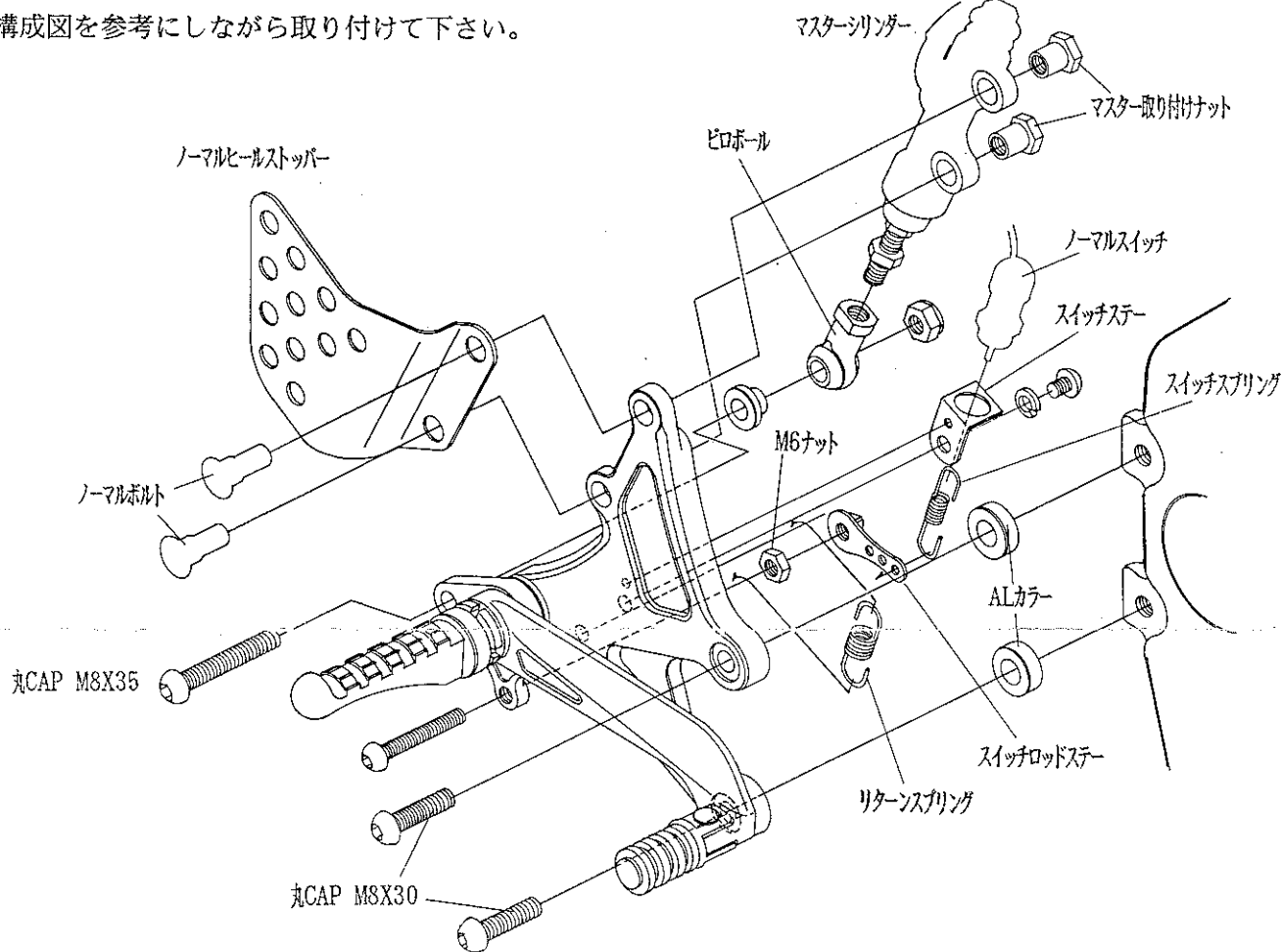
	9 R	6 R
逆チェンジ	可	可 (レース使用時のみ)
UP	30 mm	30 mm
BACK	24 mm	24 mm

!!ATTENTION!!

- ▽ 取り付けは、メーカー発行のサービスマニュアルによる確かな知識・技術を持ったバイクショップ又は、販売店に依頼することをお勧めします。
- ▽ 取り付け時は、エンジンが冷えている時に行ってください。怪我の原因になります。
- ▽ 取り付け後初期は、ボルト・ナットが緩み易いので、2~3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ▽ 製品に加工等を施さないで下さい。事故の原因になります。
- ▽ 走行前に必ず各部品の機能チェック・干渉チェックを行ってください。

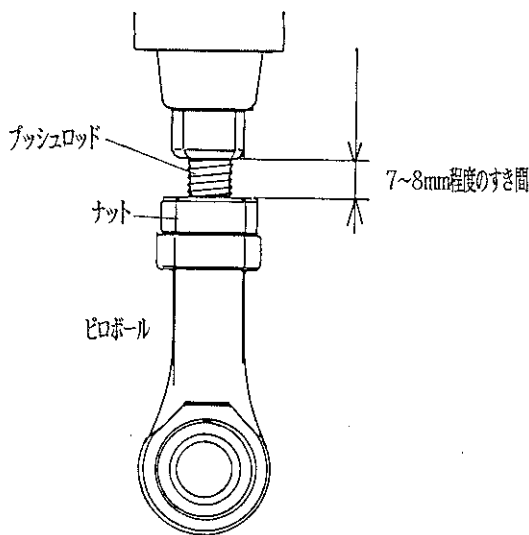
(ブレーキ側の取り付け)

・下の部品構成図を参考にしながら取り付けて下さい。

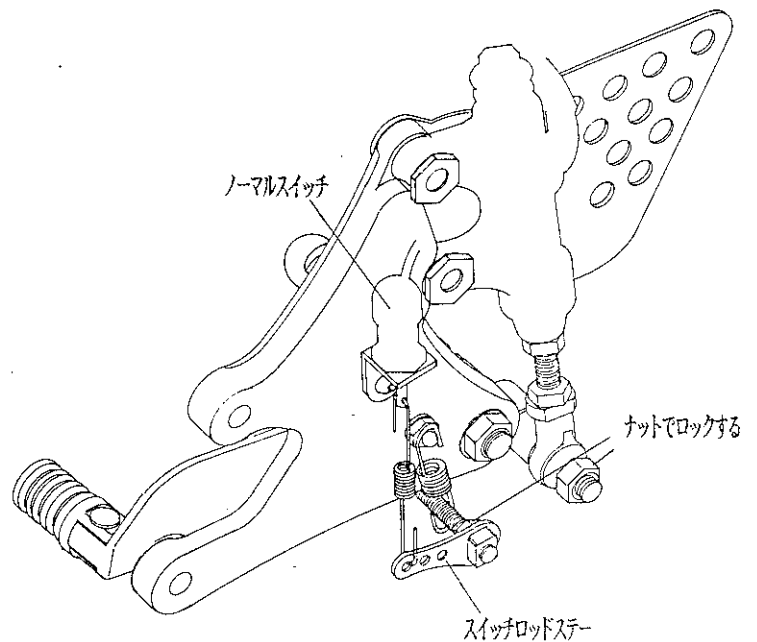


1) ノーマルステップを取り外し、スイッチの配線とシートレールをつないでいるタイラップを切り離します。(6Rは、スイッチの配線をHYPER BANKに取り付けられる所まで引き出します。)

2) 図の様に、プッシュロッドにピロボールを差し込み、7~8mm程度のすき間をあけてノーマルナットで仮締めします。(すき間の数値は、あくまで参考です。必ず自分に合った高さ調整を行ってください。)



3) スイッチステーを取り付けて、スイッチを差し込みます。各スプリング等を図の様に組み上げます。



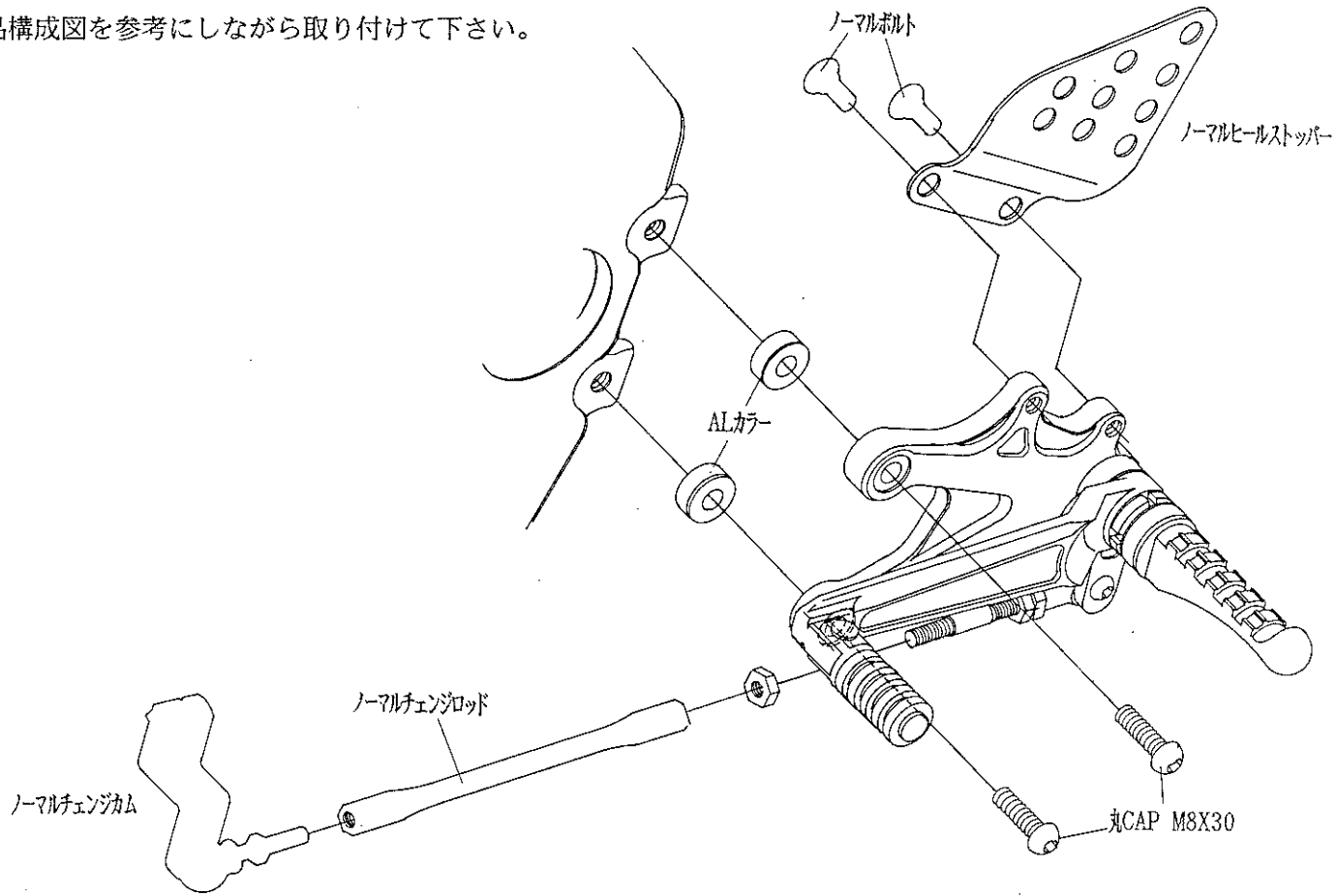
4) 組み上げたステップホルダーを車体に取り付けて、ペダルの高さ調整を行います。位置が決まったらピロボールをナットでロックします。9Rは、スイッチの配線をつなぎます。

5) ペダルを踏み込んだ時に、ストップランプが点燈する様に、3)の図のスイッチロッドステー又は、スイッチで調整します。位置が決まればスイッチロッドステーをナットでロックします。

6) 締め忘れが無いを確認し、必ず増し締めを行ってください。

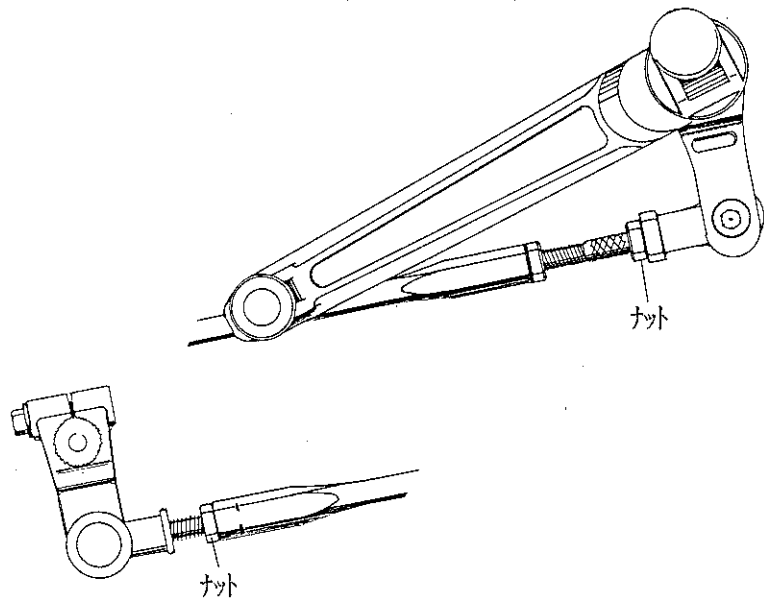
(チェンジ側の取り付け)

・下の部品構成図を参考にしながら取り付けて下さい。



1) ノーマルステップを取り外します。チェンジカム・チェンジロッドは、ノーマルを使用します。

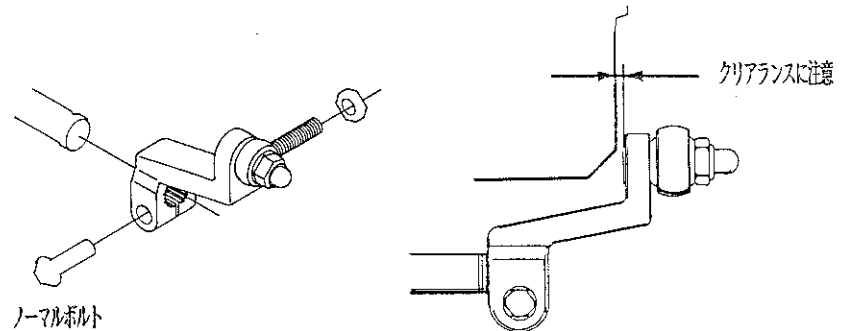
2) ステップホルダーを単体に取り付けます。図の様に、ノーマルチェンジロッドを差し込みベダルの高さ調整をして、位置が決まれば、ナットでロックします。(カムとロッドの角度は、個人差により多少変わります。)



3) 締め忘れが無いが確認して、必ず増し締めを行って下さい。ギアが入るか確認して下さい。

ZX-9Rの逆チェンジへ変更

(ストリート) ストリートでの逆チェンジへの変更は、図の様にノーマルのチェンジカムを付属のチェンジカムと付け替えます。チェンジカムを締め付ける時に、ボルトを差した状態で手前に引いた位置で締め付けて下さい。クリアランスが余りないので取り付け時は、注意して下さい。(チェンジシャフトにガタツキがあり、遊びが多い車両は、ストリートでの逆チェンジへの変更はしないで下さい)

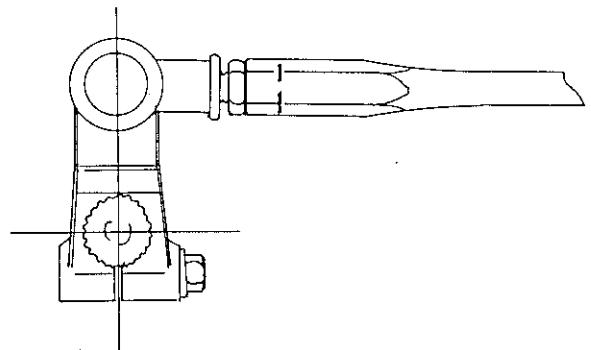


(レース) 取り付け方は、ストリートと同様です。スプロケットカバーを取り外されている場合は、カムが出来るだけエンジン側へ近付く様に取り付けして下さい。

ZX-6Rの逆チェンジへの変更

(ストリート) ストリートでの逆チェンジへの変更は出来ません。

(レース) レース時にスプロケットカバーを取り外した場合は、ノーマルのチェンジカムを使用して逆チェンジに変更出来ます。取り付けは、下の図の様に取り付けます。



< 注意！ 作業前に必ずお読み下さい >

- 取り付け作業に関しては、設備の整ったバイクショップ又は、パーツショップに作業依頼することをお勧めします。
- 取り付け作業者は、必ず取り付け説明の各項目 注意事項 部品構成を理解した上で、作業を進めてください。
- 作業をされたショップの作業者は、ノーマルパーツ及び説明書などは、必ずユーザーの方へお渡しください。

※ ブレーキストップランプスイッチ取り付け上の注意点

ハイパーバンク ブレーキ側ホルダー裏面のストップランプスイッチステーにストップランプスイッチを取り付ける際、ハーネスの長さが足りない場合には燃料タンクを浮かした状態でストップランプスイッチハーネスの取り回しをブレーキ側ホルダー裏面にストップランプスイッチがより接近するように変更する。